

3回：くにの登場と邪馬台国

赤（なみ線）は重要
青（ぼう線）は難関



米づくりは人々の暮らしを大きく変えました。そして、人々のむらは大きくなり、くにとなりました。米づくりには多くの知識が必要だったので、みんなをまとめたり、米のつくりかたを教えたりする指導者が現れました。指導者のもとで、人々は協力して米づくりや祭りを行いました。強い力をもったむらの指導者たちを①_____とよびます。やがて、人々の間に身分の差や貧富の差が生まれました。強いむらは弱いむらをしたがえて、②_____へと発展していきました。指導者は人々を支配する者となって、③_____とよばれるようになりました。この時代、中国では日本のことを④_____とよんでいました。



中国の歴史書の『漢書』地理志には、倭が100以上の国に分かれていたと書いてあります。現在の福岡市付近には⑤_____というくにがあったと考えられており、その王は「漢委奴国王」と刻まれた⑥_____を授かりました。これは、江戸時代に福岡県の志賀島で発見され、今は福岡市博物館に収められています。



⑥

答え：①豪族 ②くに ③王 ④倭 ⑤奴国 ⑥金印

米づくりは人々の暮らしを大きく変え、むらを大きくしました。

やがて、人々の間に身分の差や貧富の差が生まれました。強いむ

②

らは弱いむらをしたがえて、くにへと発展していきました。

指導者は人々を支配する者となって、王とよばれるようになります。

3世紀になると、①_____という国が、30ほどのくにをしたがえるようになりました。女王の②_____はまじないやうらないで政治をしました。②は中国の③_____に使者を送って、こうていどうきょうまいしんぎわおうしょうごう皇帝から銅鏡100枚や「親魏倭王」の称号をもらいました。この話は中国の歴史書「④_____倭人伝」に書いてあります。

【弥生時代の遺跡】

⑤_____遺跡…静岡県。水田や高床倉庫のあとが見つかった。

⑥_____遺跡…佐賀県の大きな遺跡。この遺跡は二重のさくや堀に囲まれていて、こうした集落を⑦_____集落とよびます。

⑧_____遺跡…奈良県。弥生時代末期から古墳時代前期にかけての大集落の遺跡。



答え：①邪馬台国 ②卑弥呼 ③魏 ④『魏志』 ⑤登呂 ⑥吉野ヶ里 ⑦環濠 ⑪纏向